

白鳥

～夢に向かって、気づき・考え・行動する 児童の育成～

いちめん真っ白 霧の朝

今日（12月18日）の朝は、霧で真っ白でしたね。

子供たちは霧の中を歩いて登校してきました。

真っ白な中から少しずつ人影が見えてきて、校門近くに来ると子供たちの笑顔に出会えます。幻想的な景色とは裏腹に、霧が濃い日は、事故等の連絡がないかヒヤヒヤしています。

これからも、霧が発生する朝があると思います。

子供たちには、登校班できちんと並び、なるべく車道から遠いところを一列で歩くよう指導したいと思います。

私たち大人も車の運転に注意したいと思います。



「自主的、実践的な態度」が育ってきました

先月末から今月にかけて、6年生や5年生が立て続けに校長室にやってきました。

6年生は、代表3人が、「12月の昼休みに、6年生がクリスマスパーティーを開いて、下級生を招待したい。許可してもらえるか」と直談判に来ました。

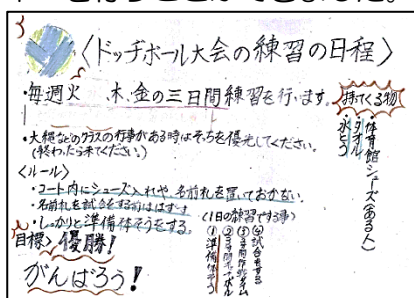
「パーティーでは、〇〇と△△、……を計画している」「トラブルにならないように〇〇することを考えている」と、パソコンで計画書を作り、詳しく説明していきます。

突然のことでしたが、いろいろ考えて計画しているし、昼休みの活動なので特に禁止する理由もなく、許可を出しました。



しかし、「〇〇をするために材料はあるの?」と聞くと、「家から…」「お小遣いで…」と言い出しました。「そこは、学校で準備をするから必要な物と数を整理してまた来なさい」と伝え、後日「色画用紙を〇枚、色紙を〇枚、シールを…必要」と、またパソコンできれいに整理し、再提案にきました。目的や活動内容、及び学校で準備するもの等が納得できるものであったため、再び許可を出しました。

そして準備を進め、今週、月・火・木曜日に下級生を楽しませるクリスマスパーティーを行うことができました。



一方、5年生は、「ドッジボール大会に出場するため、昼休みに体育館で練習したい。体育館を使わせてほしい」ときれいにまとめられた計画書（参加者募集のチラシ）を携え、直談判にきました。

「きちんとした練習計画や、安全についての対策、施設・設備を大切にするような対策が取られていないと貸すことはできない」と話すと、「けがをしないように……」「道具を壊さないように……」と子供たちの口から対策を話すことができました。また「きちんと指示を出したり、ルールを守らせたりするリーダーはいるの?」と

いう問いにも「自分が責任をもってやります」と力強い返答をしたので「体育館で練習していいです。しかし、必ず先生がついている状態ですること」と許可をしました。

これから2月の大会に向けて練習が始まるようです。

どちらも、そこまで厳密にしなくてもいいような子供たちからのお願いでしたが、きちんと筋を通して、また、説得するためにきちんと準備して実行に移すことができる姿に、自主的・実践的な態度が育ってきたなと感じた今日この頃でした。